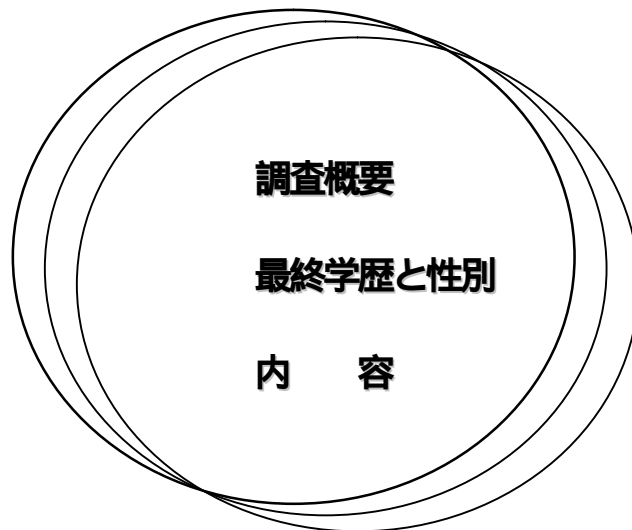


平成20年度
新入社員意識調査報告書

本調査は、
平成20年4月、地場企業に入社されました
新入社員369名の回答をまとめたものです。



平成20年5月作成
熊本商工会議所

調査概要

【平成20年度 新入社員意識調査 調査概要】

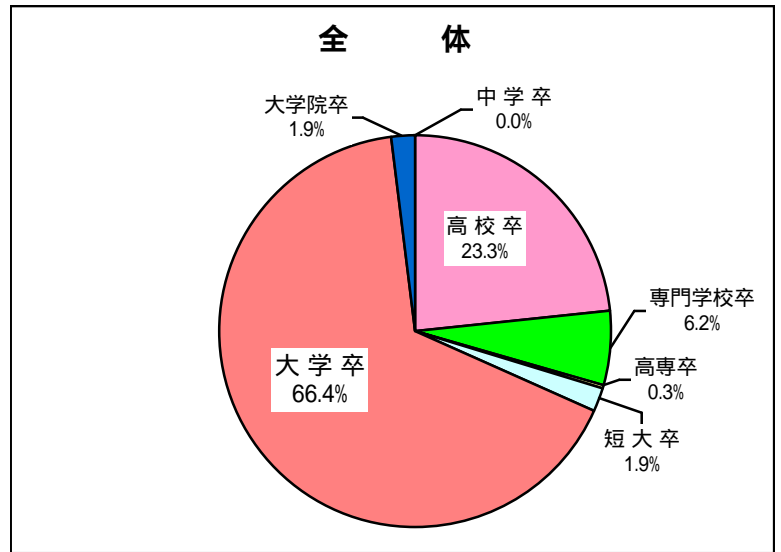
調査実施主体	熊本商工会議所
調査目的	本調査は、企業繁栄の原動力となる新入社員の就職決定までのプロセスや新社会人としての意識等を調査し、今後の事業展開の参考資料とすることを目的とする
調査期間	平成20年4月2日(水)～同年4月11日(金)
調査対象	当所が主催した平成19年度新入社員合同入社式・研修会の参加者及び熊本市内企業の新入社員(計55社440人に調査票を配布)
回答数	369人(回収率83.9%)

対象者内訳

	男性	女性	計
中学卒	0	0	0
高校卒	64	22	86
専門学校卒	17	6	23
高専卒	0	1	1
短大卒	3	4	7
大学卒	146	99	245
大学院卒	6	1	7
計	236	133	369

最終学歴と性別

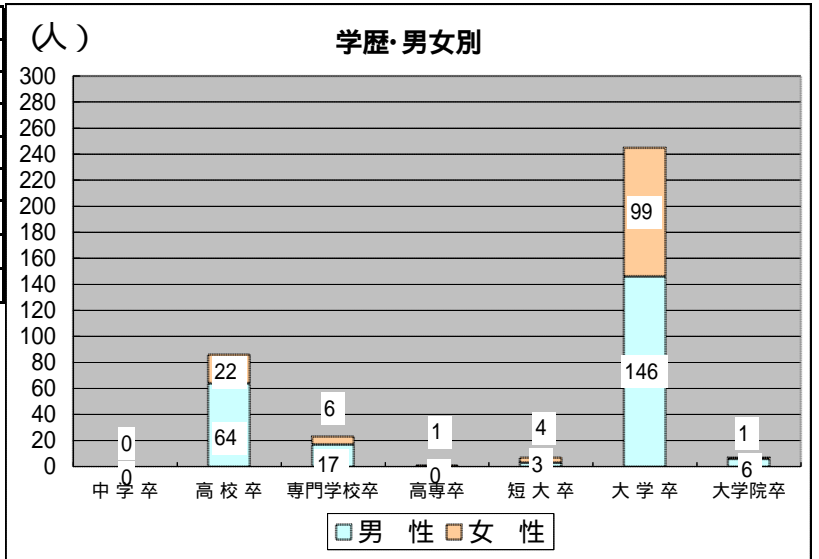
	全 体	全体 (%)
全 体	369	100.0
中学卒	0	0.0
高校卒	86	23.3
専門学校卒	23	6.2
高専卒	1	0.3
短大卒	7	1.9
大学卒	245	66.4
大学院卒	7	1.9



学歴・男女別 (人)

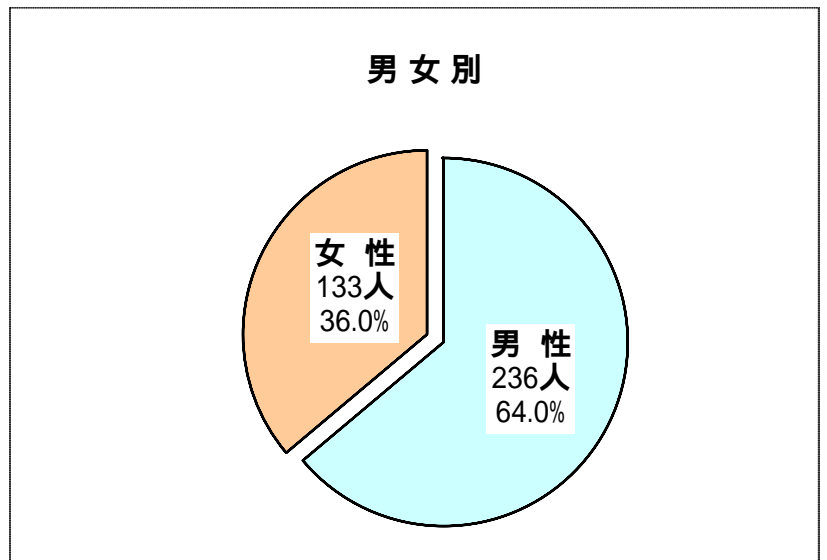
	男 性	女 性	全 体
中学卒	0	0	0
高校卒	64	22	86
専門学校卒	17	6	23
高専卒	0	1	1
短大卒	3	4	7
大学卒	146	99	245
大学院卒	6	1	7
全 体	236	133	369

(人)



男女別

人数 (人)		全体 (%)
236人	男 性	64.0
133人	女 性	36.0
369人		100.0



内 容

Q1 就職に関する情報は主にどこから得ましたか？(重複回答)

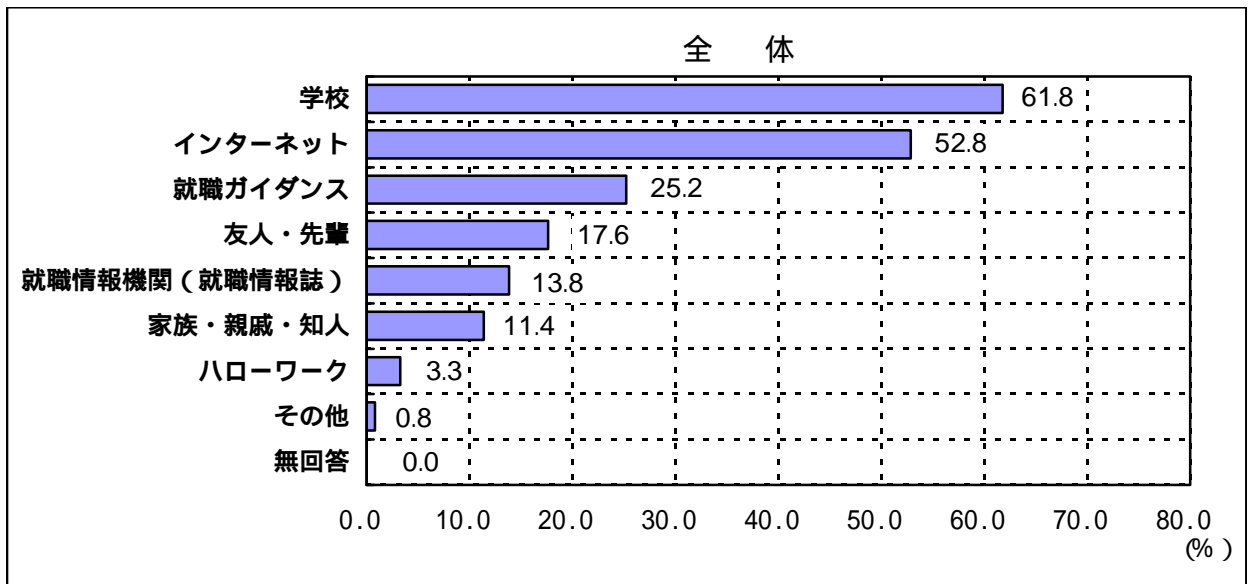
トップは「学校」61.8%、次いで「インターネット」52.8%

～大学卒は「インターネット」が71.4%でトップ～

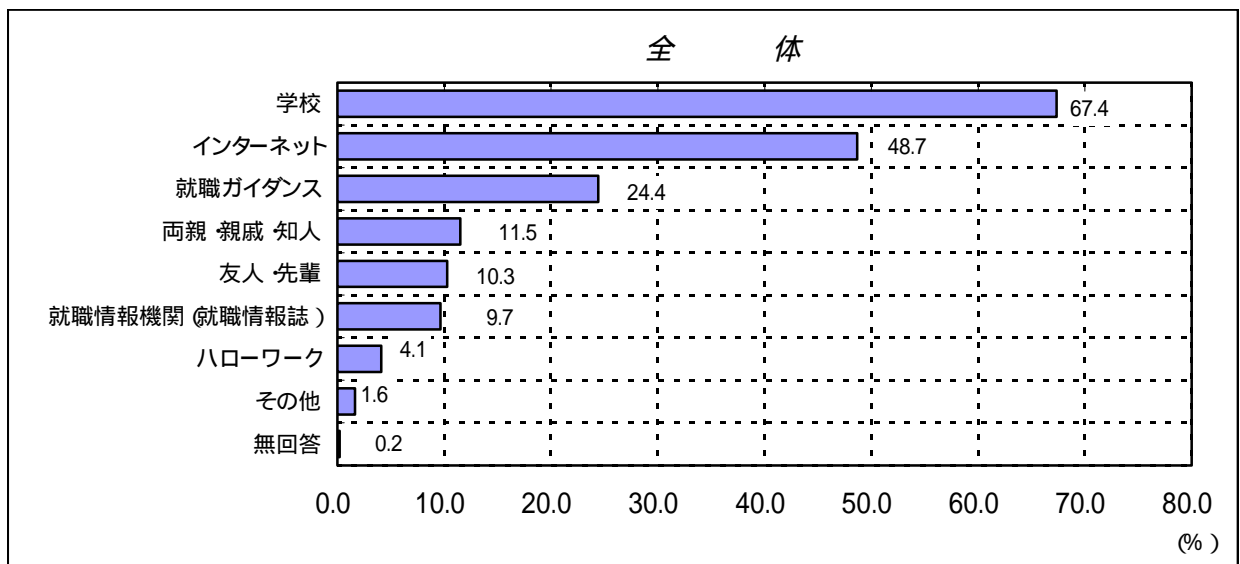
トップを学歴別で見ると、「学校」が高校卒89.5%、専門学校卒87.0%と特に回答が多かったものの、短大卒・大学卒はともに「インターネット」が71.4%で、次いで「学校」「就職ガイダンス」「就職情報機関」などで、情報入手先の多様化が見られる。また、全体では、「インターネット」の割合が年々高くなっている。

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
インターネット(全体)	46.8%	44.7%	45.1%	47.6%	48.7%	52.8%



前年の結果グラフ



Q 2 就職先を決定する際に重視したことは何ですか？ (重複回答)

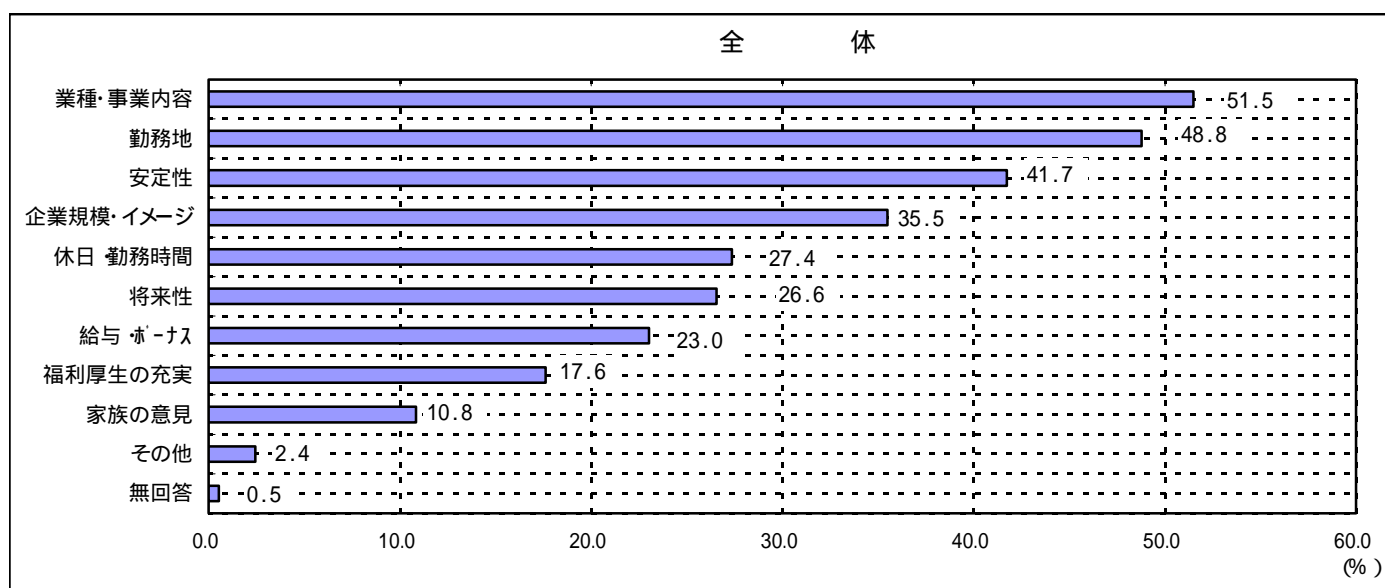
トップは、「業種・事業内容」51.5%、次いで「勤務地」48.8%、「安定性」41.7%

～「安定性」重視が減少、「業種・事業内容」、「勤務地」は増加～

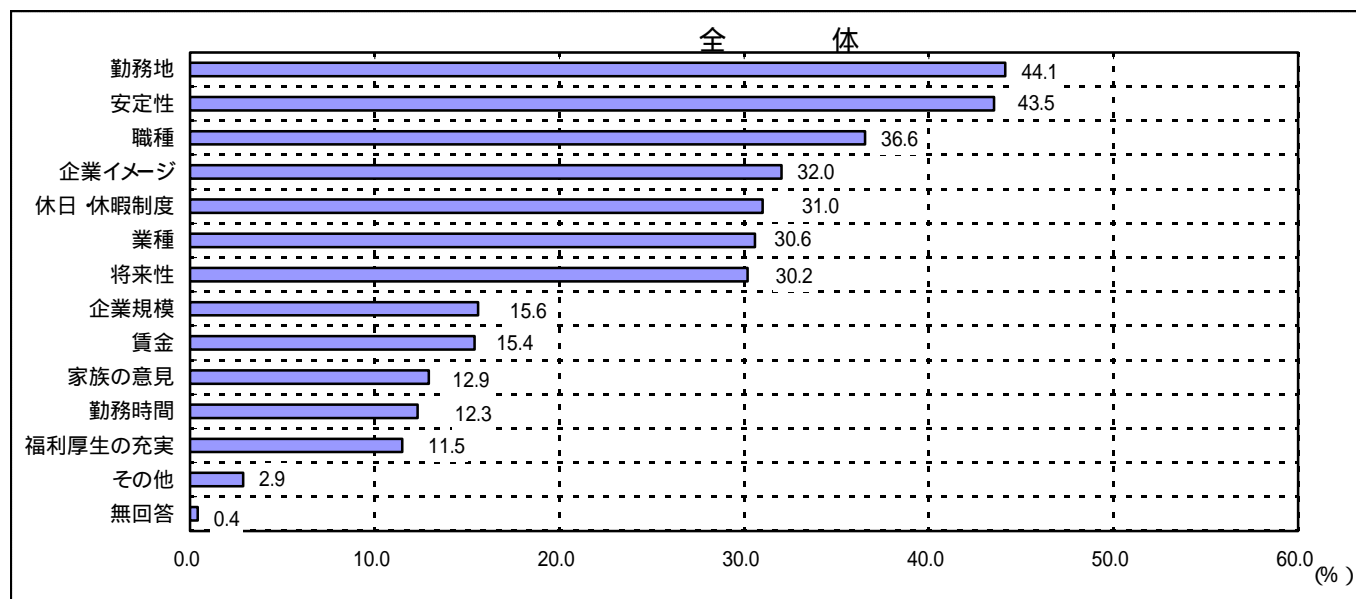
男女別に上位を見ると、男性は、「業種・事業内容」、「勤務地」、「安定性」、「企業規模・イメージ」、「将来性」の順となり、女性は、「業種・事業内容」、「勤務地」が同数、次いで「安定性」、「休日・勤務時間」、「企業規模・イメージ」であった。

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
勤務地	51.6%	55.3%	50.3%	47.0%	44.1%	48.8%
会社の安定性	39.4%	30.1%	32.7%	40.7%	43.5%	41.7%
職種	46.5%	50.2%	43.5%	37.3%	36.6%	-



前年の結果グラフ



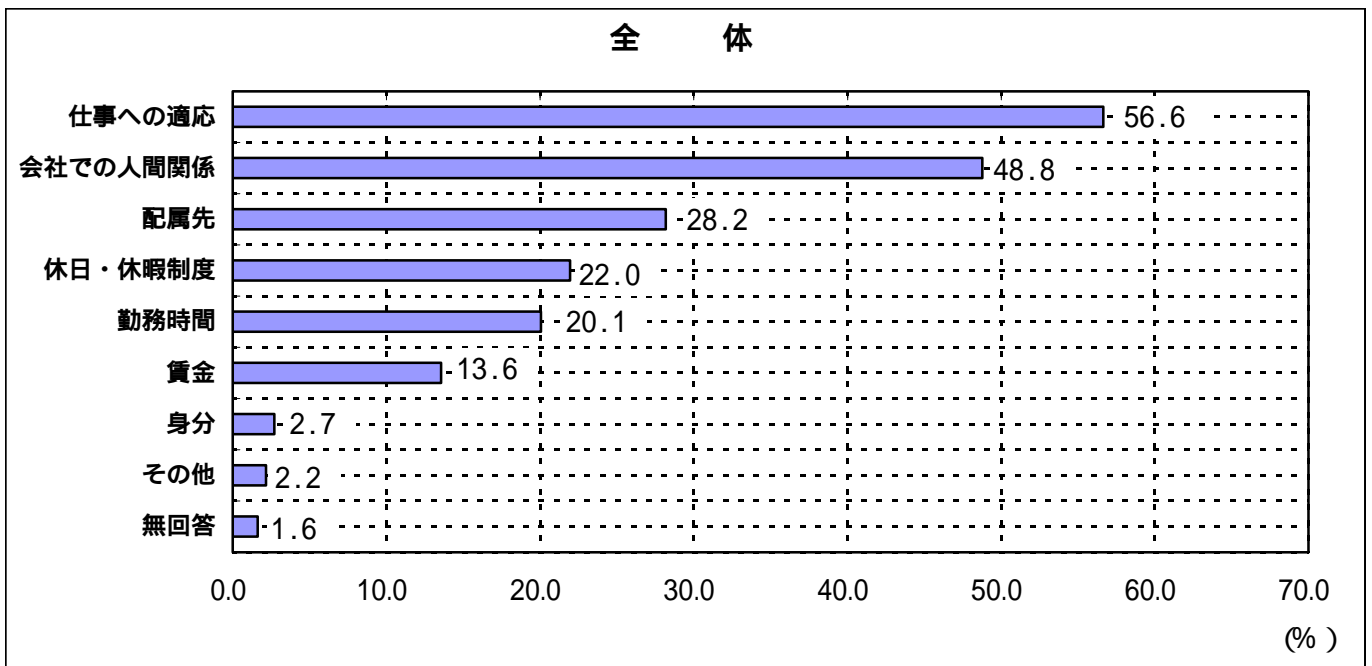
Q 3 入社する会社に不安があるとすればどんなことですか？(重複回答)

トップは「仕事対応」56.6%、次いで「人間関係」48.8%

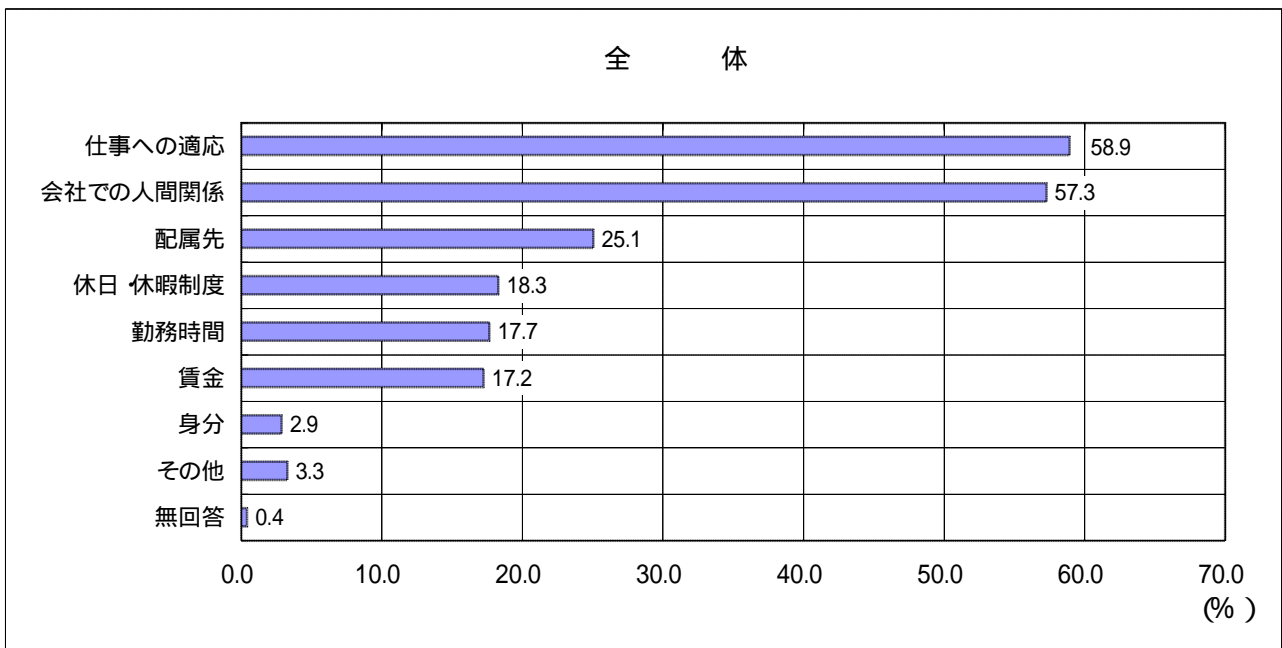
例年と大きな変化はないものの、ともに昨年より2.3ポイント、8.5ポイントの減少となった。また、「配属先」は3.1ポイント、「休日・休暇制度」は3.7ポイント、「勤務時間」は2.4ポイント昨年より増加した。

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
仕事適応	62.5%	70.3%	59.0%	59.3%	58.9%	56.6%



前年の結果グラフ



Q 4 会社に望むものはどんなことですか？ (重複回答)

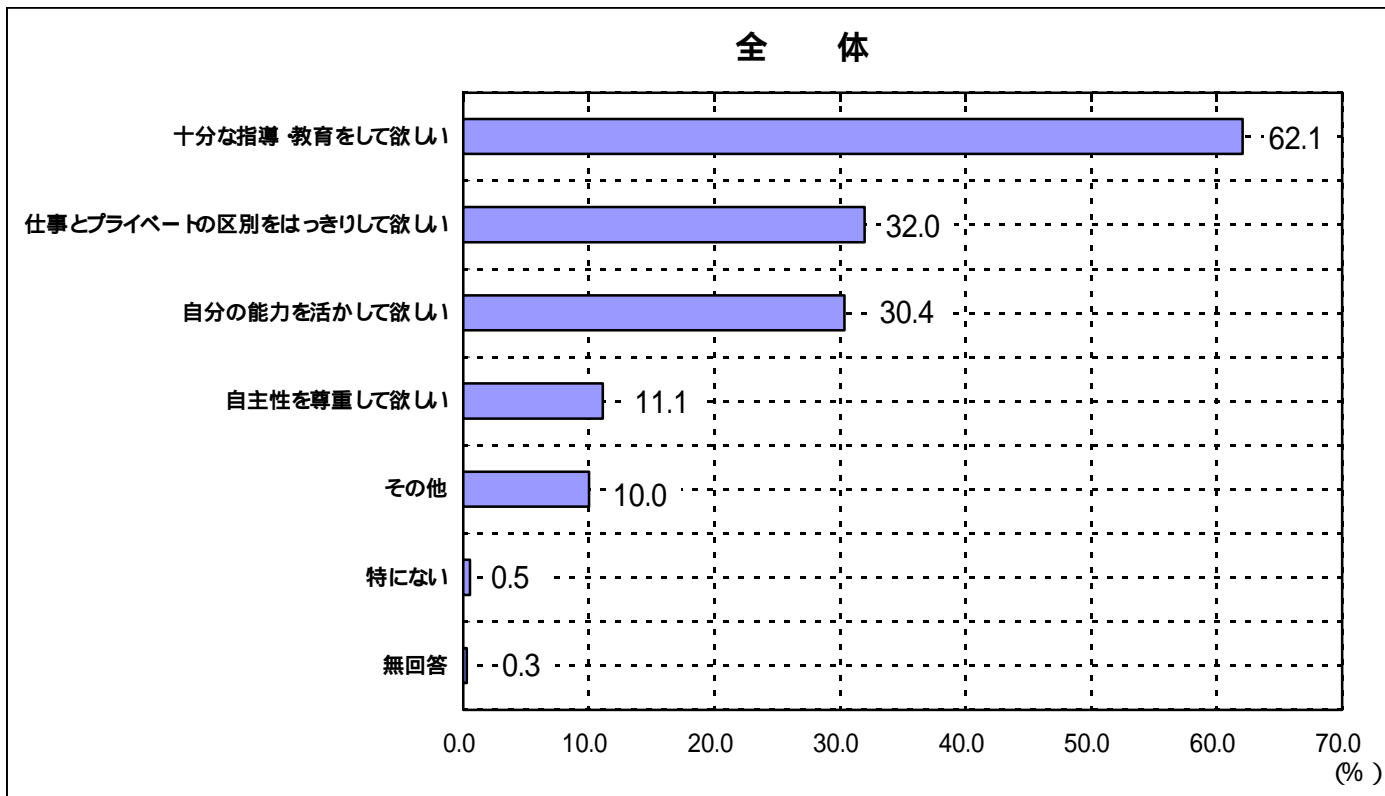
「十分な指導 教育」62.1%でトップ

～次いで「仕事とプライベートの区別」で、3.5ポイントの増加。～

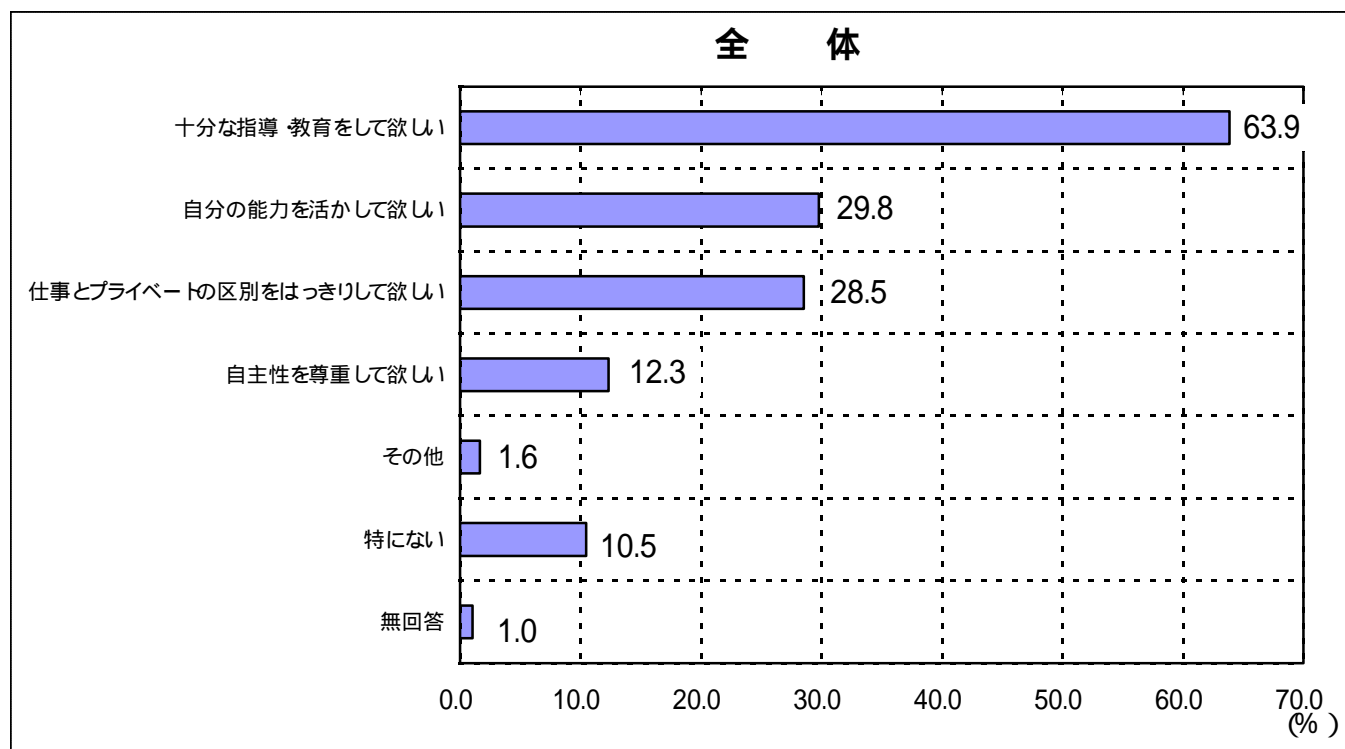
トップを学歴別に見ると、短大卒のみが「能力を活かして欲しい」・「仕事とプライベートの区別」ともに42.9%という結果となった。

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
十分な指導 教育	53.8%	61.2%	58.0%	58.7%	63.9%	62.1%

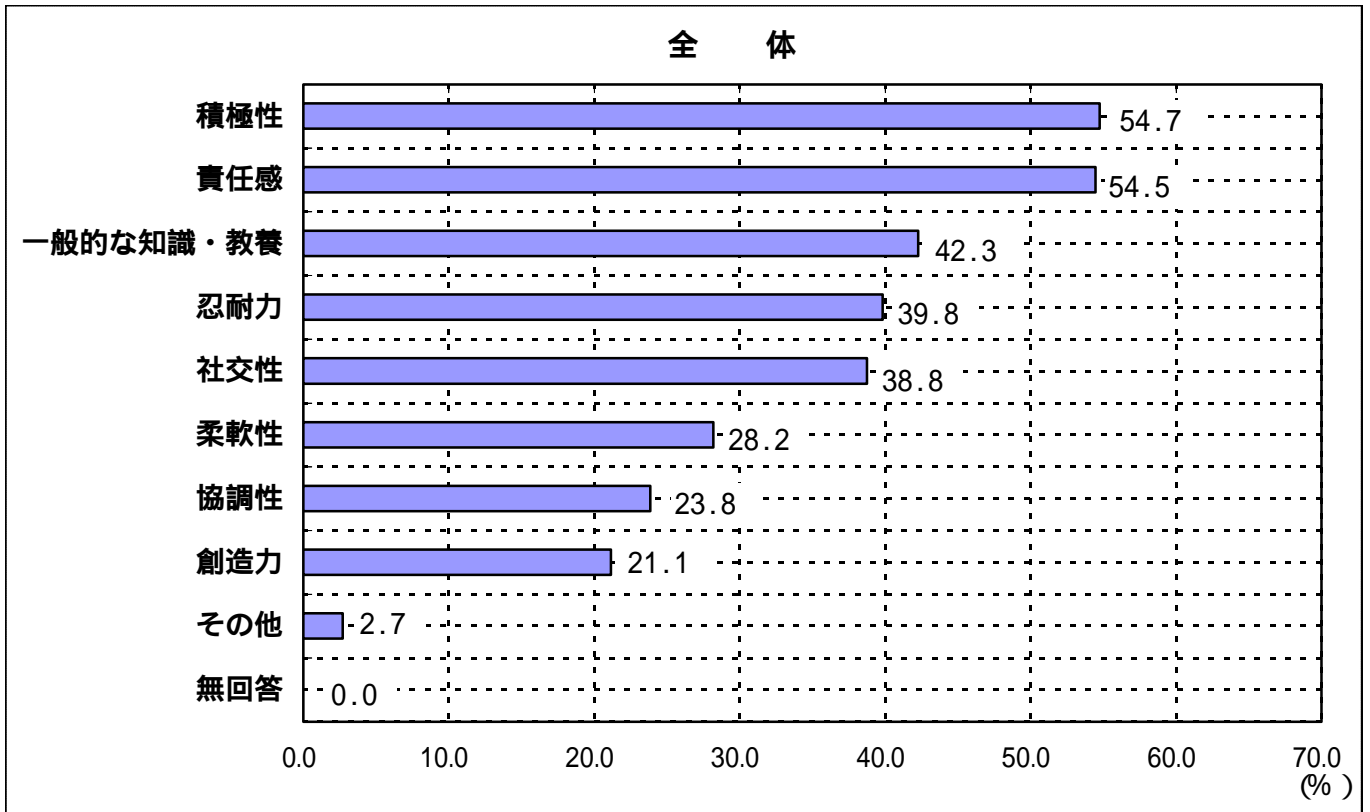


前年の結果グラフ

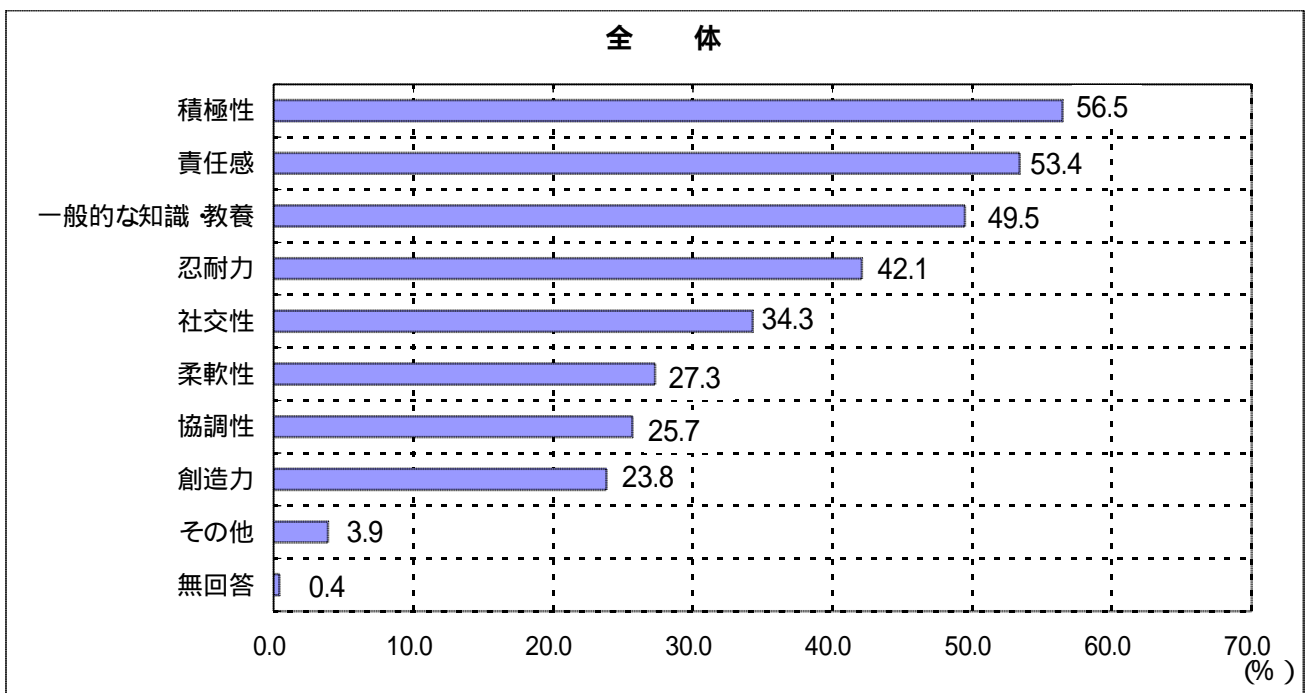


Q 5 就職するにあたって自分がもっと身につけなければならないものは何だと思いますか？（重複回答）
 上位は、「積極性」54.7%、次いで「責任感」54.5%、「知識・教養」は42.3%で昨年より7.2ポイント減少。

男女別に上位を見ると、男性は、「積極性」、「責任感」、「社交性」・「知識・教養」が同数の順になり、女性は、「責任感」、「積極性」、「知識・教養」、「忍耐力」であった。



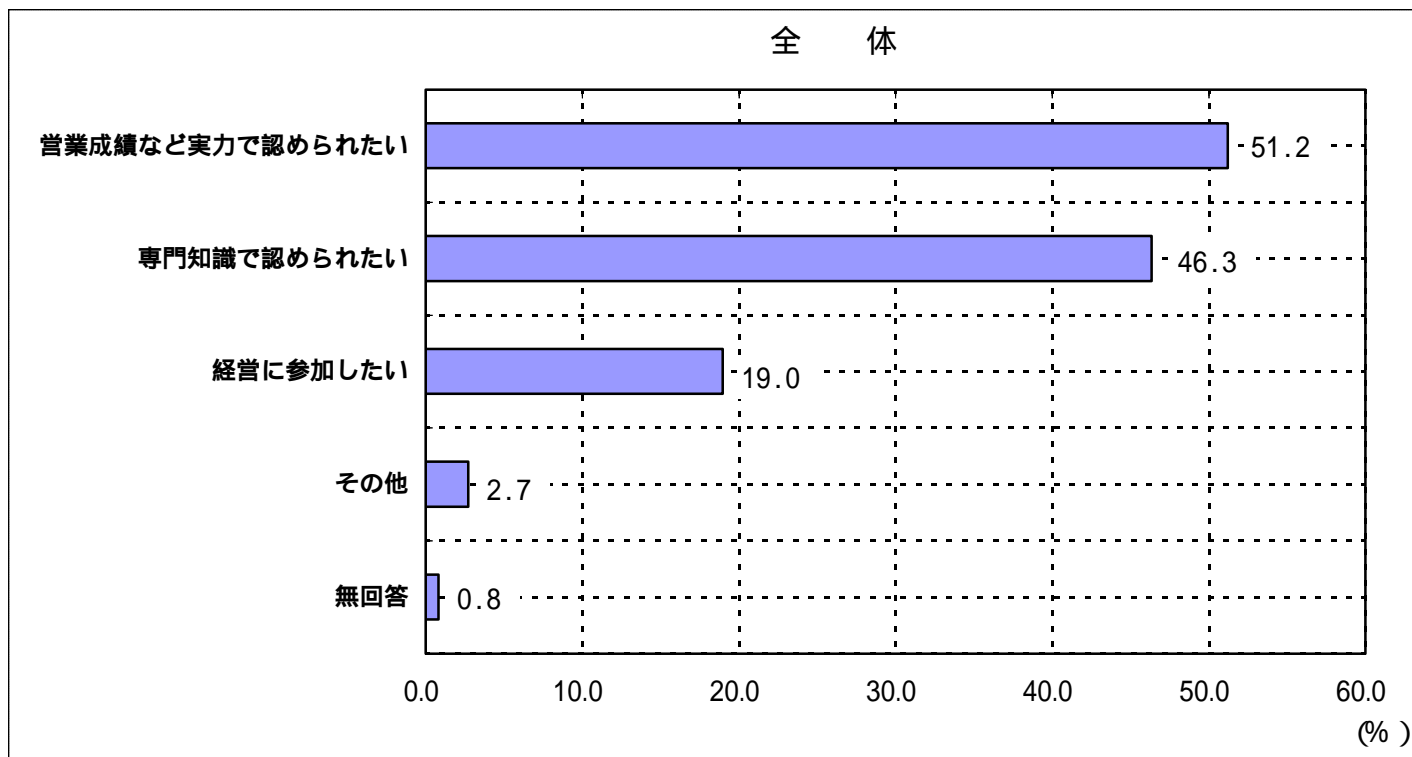
前年の結果グラフ



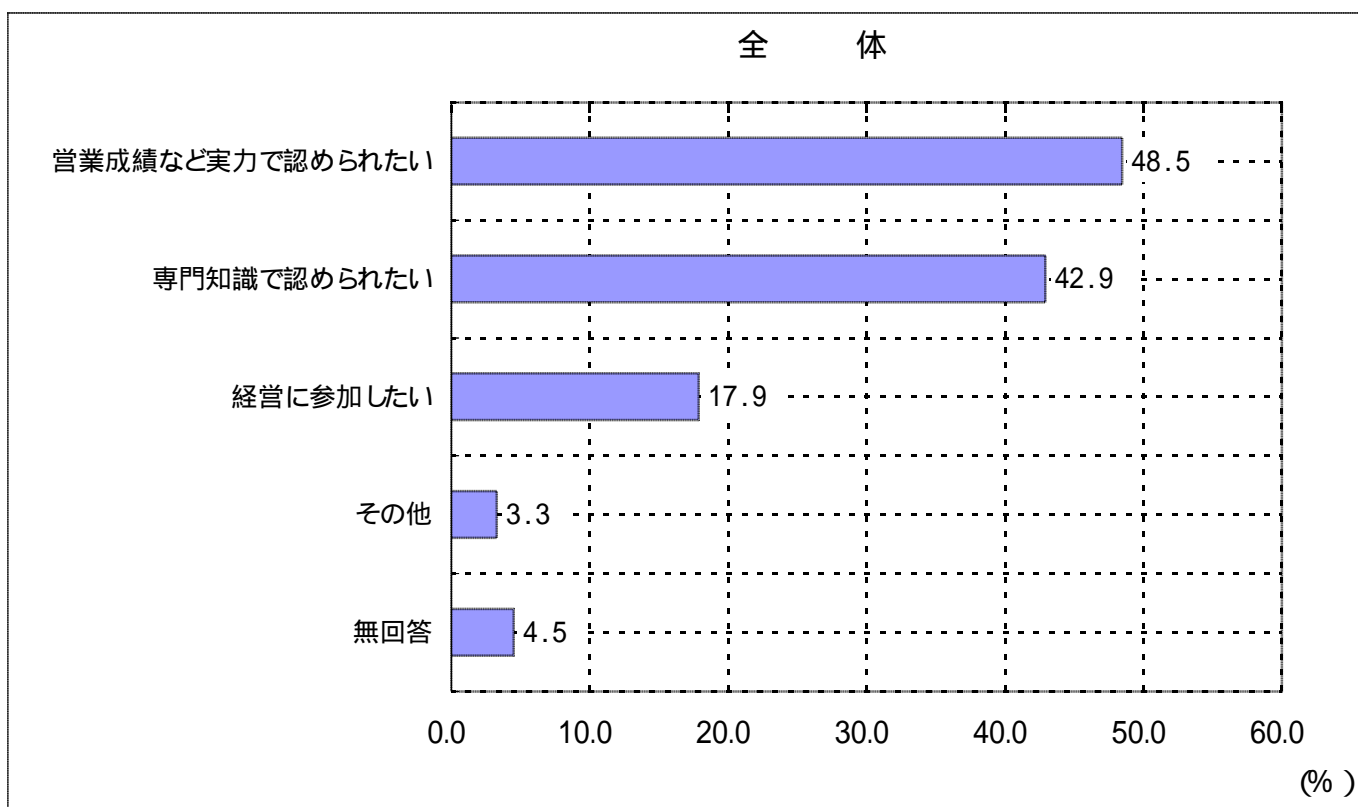
Q 6 会社における自分の将来についてどう考えますか？ (重複回答)

実力で認められたい」51.2%、専門的な知識で認められたい」46.3%

男女別のトップを見ると、男性が「実力で認められたい」57.2%、女性は「専門知識で認められたい」54.9%となった。



前年の結果グラフ

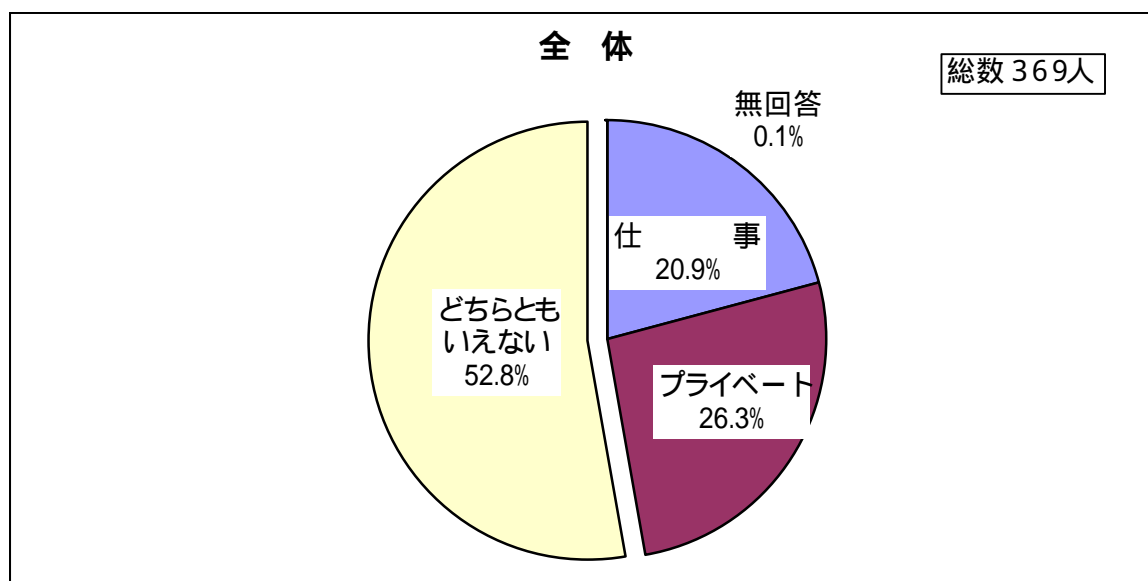


Q 7 あなたの生活の中で、仕事とプライベートではどちらを重視しますか？
 「どちらともいえない」が52.8%でトップ

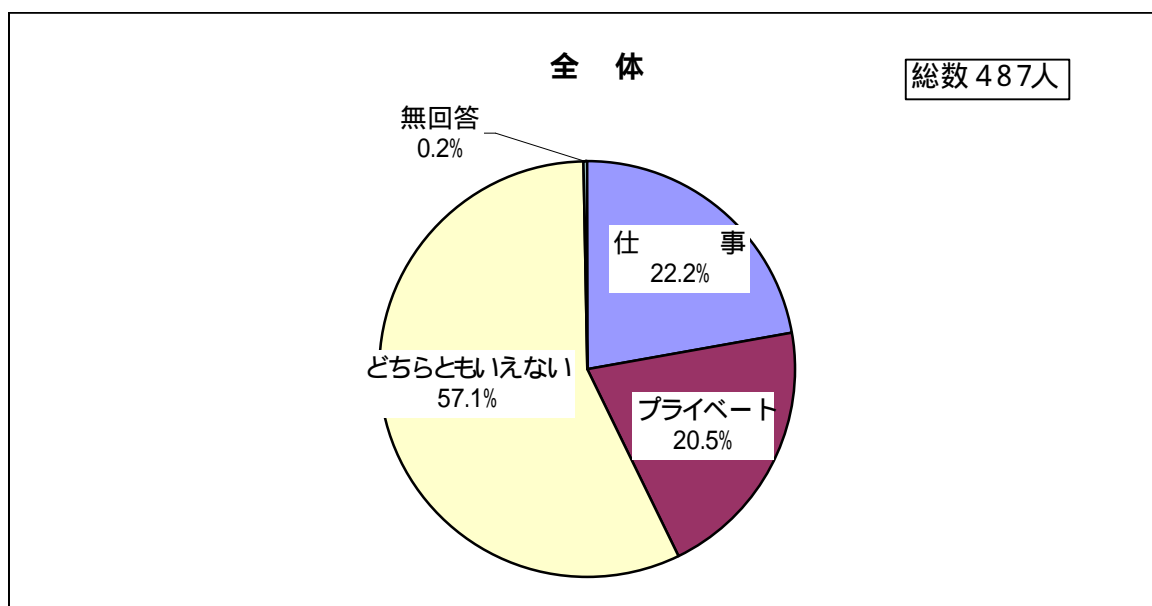
～次いで「プライベート」26.3%で、8年ぶりに「仕事」を5.4ポイント上回る～

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
仕事	24.7%	26.9%	23.1%	25.3%	22.2%	20.9%
プライベート	17.6%	14.6%	19.8%	17.8%	20.5%	26.3%
どちらともいえない	56.4%	58.0%	55.2%	56.3%	57.1%	52.8%



前年の結果グラフ



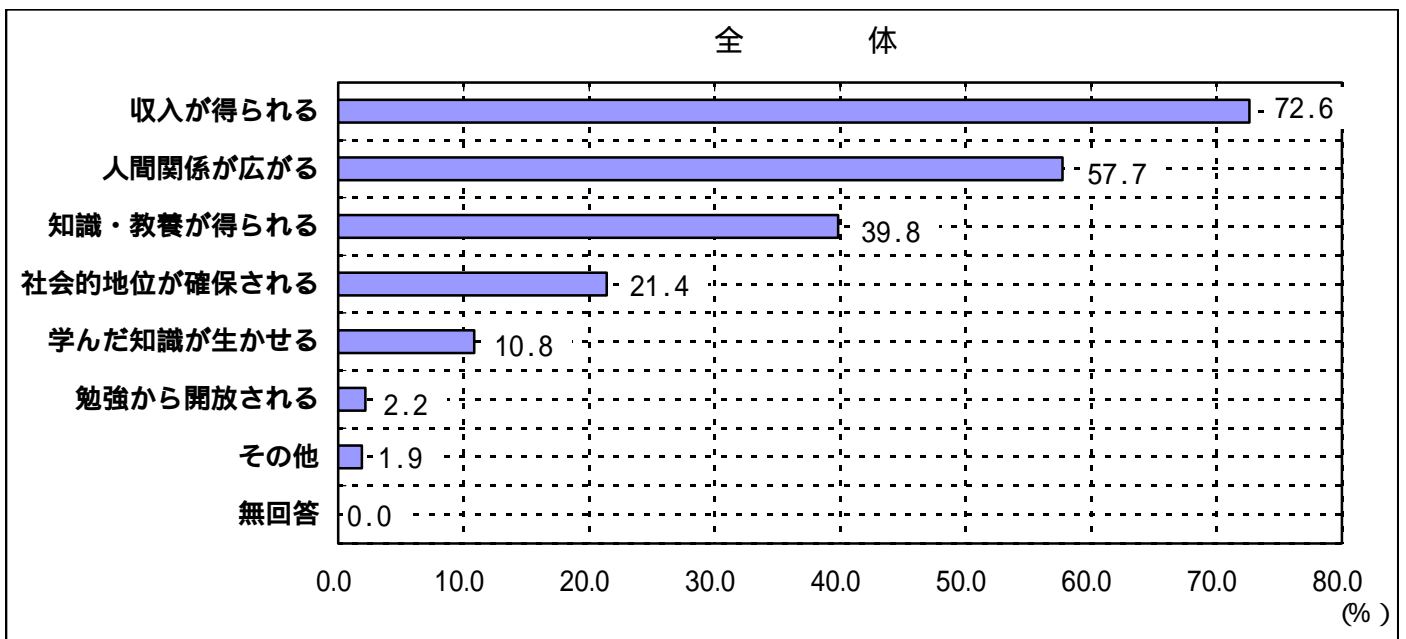
Q 8 社会人になって期待していることは何ですか？ (重複回答)

上位は、「収入」72.6%、「人間関係」57.7%、「知識・教養」39.8%で、それぞれ昨年よりポイント減

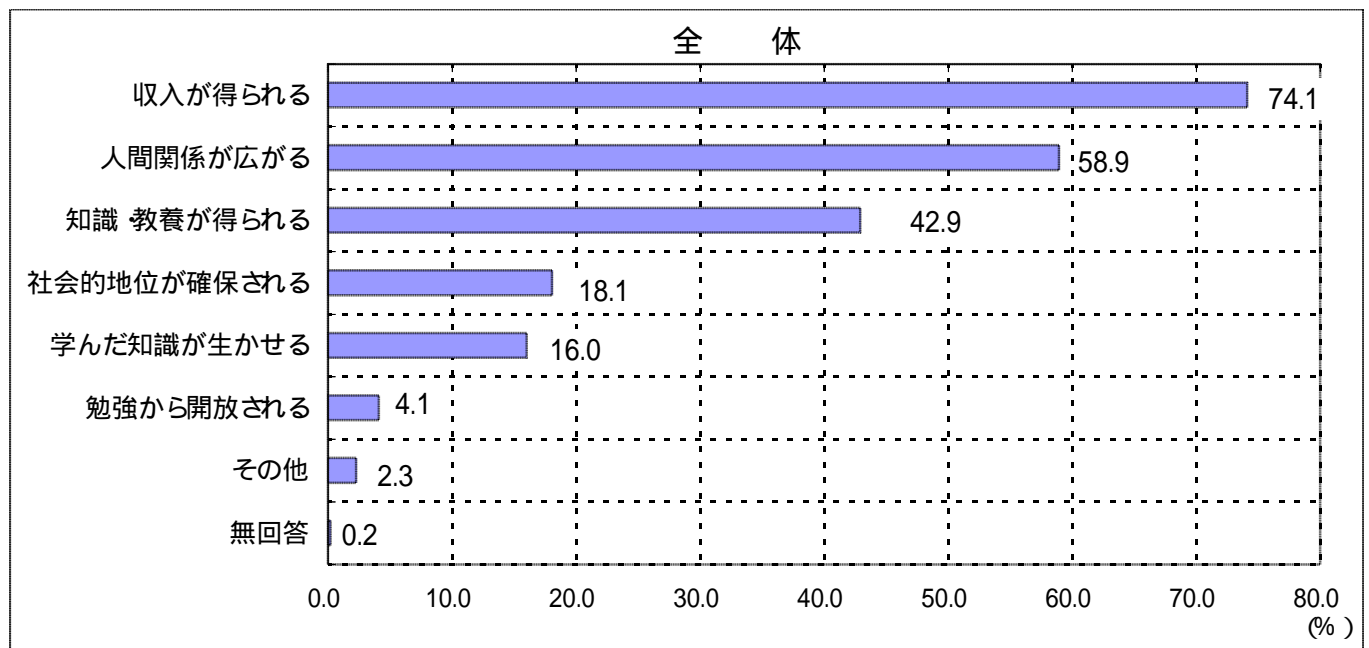
トップを学歴別に見ると、「収入」が高校卒76.7%、専門学校卒73.9%、
大学卒71.8%で、「知識・教養」が大学院卒71.4%、「人間関係」が短大卒71.4%となった。

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
収入	67.9%	73.5%	66.0%	66.9%	74.1%	72.6%
人間関係	52.9%	58.0%	58.0%	59.0%	58.9%	57.7%
知識・教養	39.7%	52.1%	43.8%	40.4%	42.9%	39.8%



前年の結果グラフ

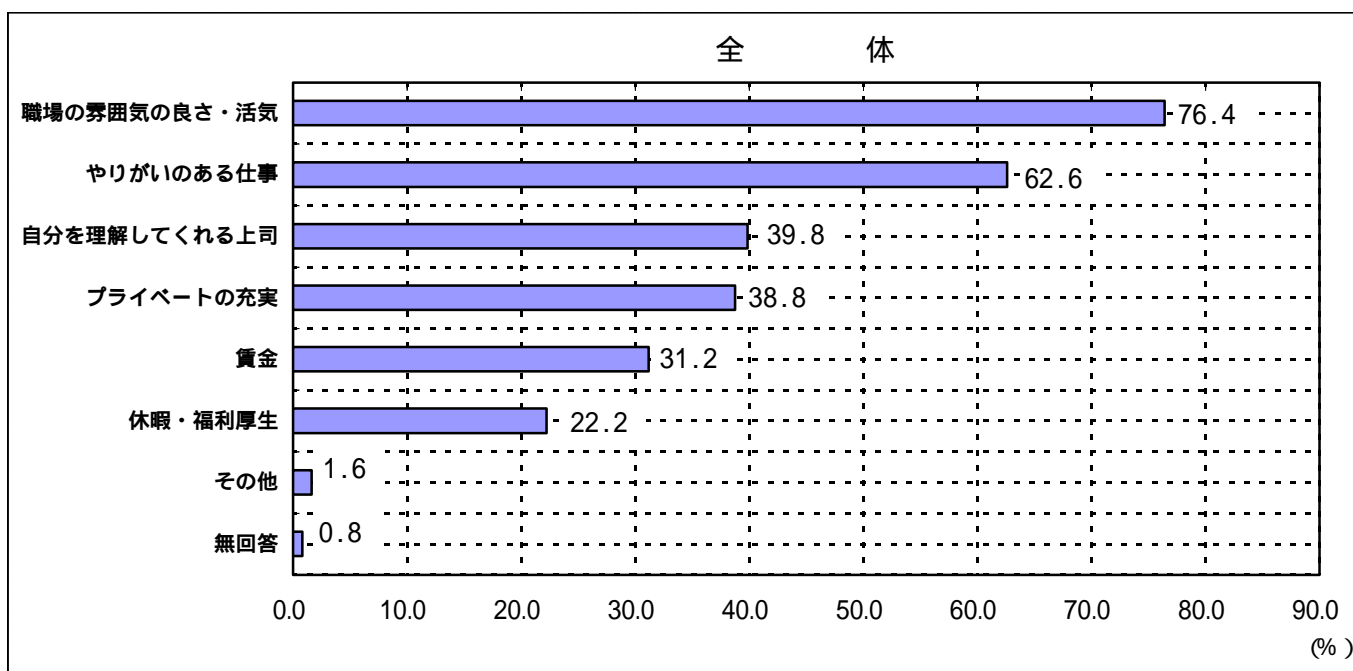


Q 9 あなたにとって仕事の「やる気」をおこさせるものは何ですか？（重複回答）
 トップは「雰囲気の良い・活気」76.4%、次いで「やりがいのある仕事」62.6%

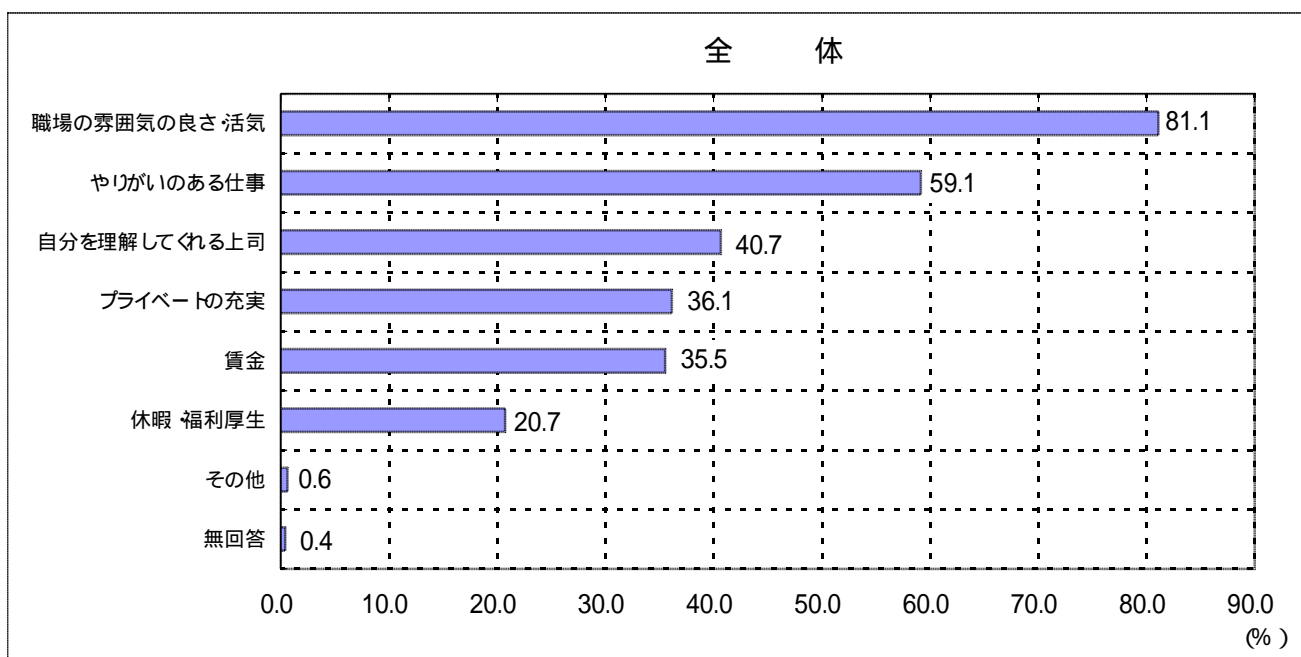
～「やりがい」が増加、そして「雰囲気」、「上司」はともに減少～

(抜粋)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
雰囲気の良い・活気	65.1%	74.4%	76.5%	78.3%	81.1%	76.4%
やりがいのある仕事	63.1%	67.1%	59.9%	64.8%	59.1%	62.6%
理解してくれる上司	42.3%	43.4%	34.0%	44.3%	40.7%	39.8%



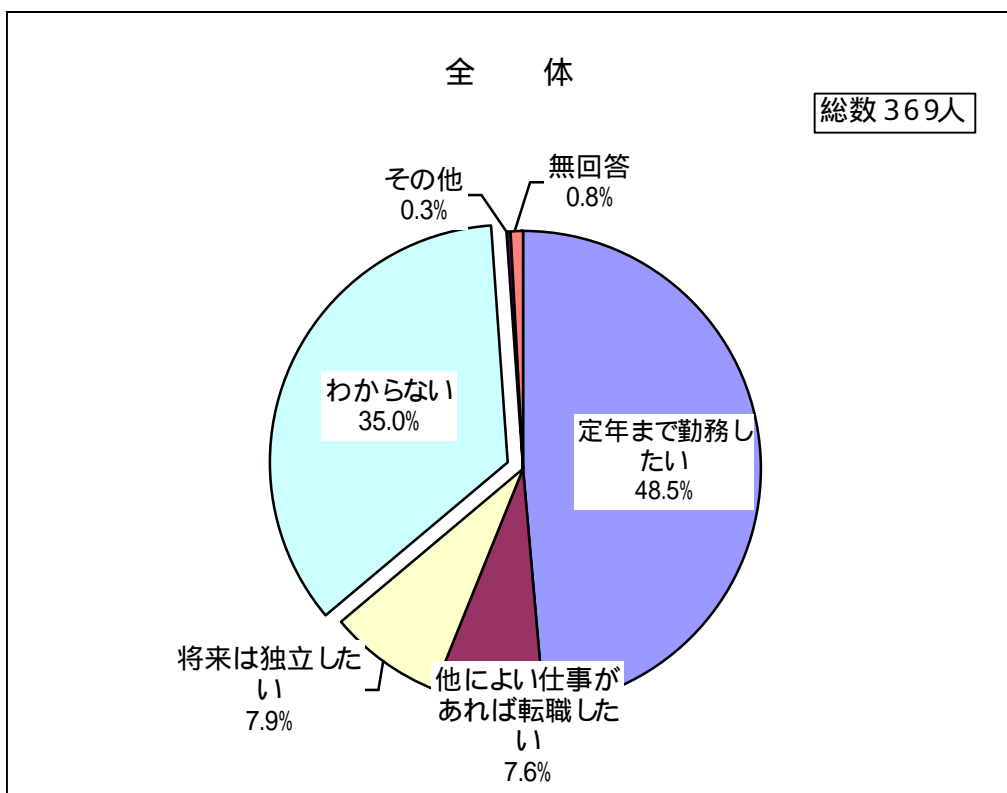
前年の結果グラフ



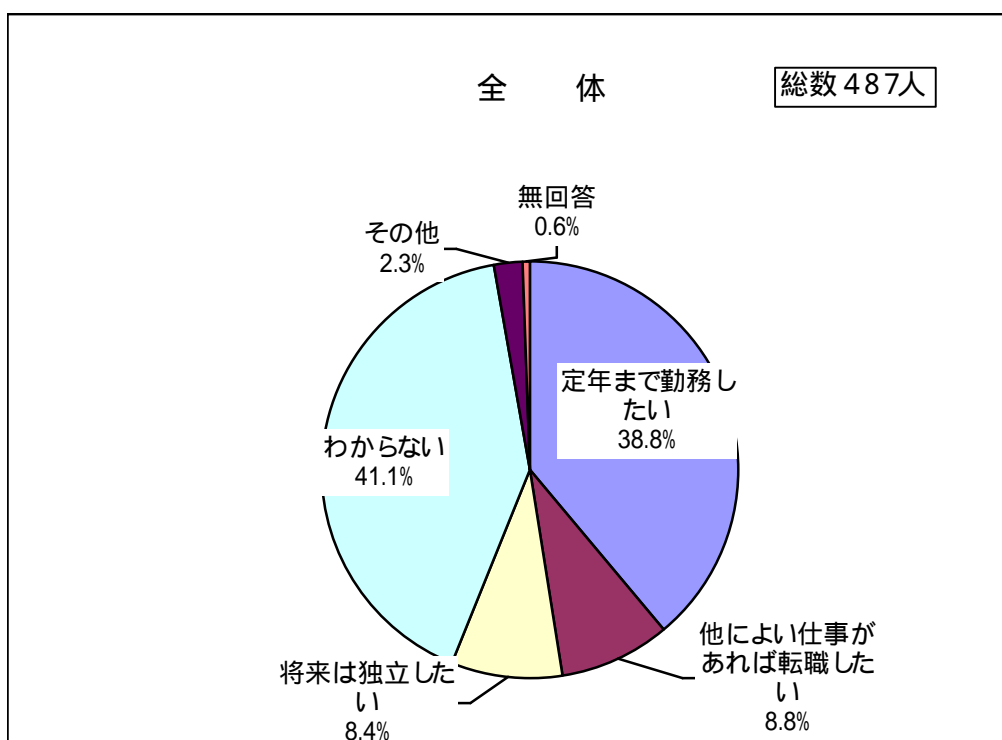
Q10 入社する会社には定年まで勤務しますか？

トップは「定年まで勤務」48.5%で9.7ポイント増加、次いで「わからない」35.0%で6.1ポイント減少

トップを男女別に見ると、男性が「定年まで勤務」59.7%、女性が「わからない」56.4%、学歴別に見ると、専門学校卒・短大卒で「わからない」がトップという結果となった。



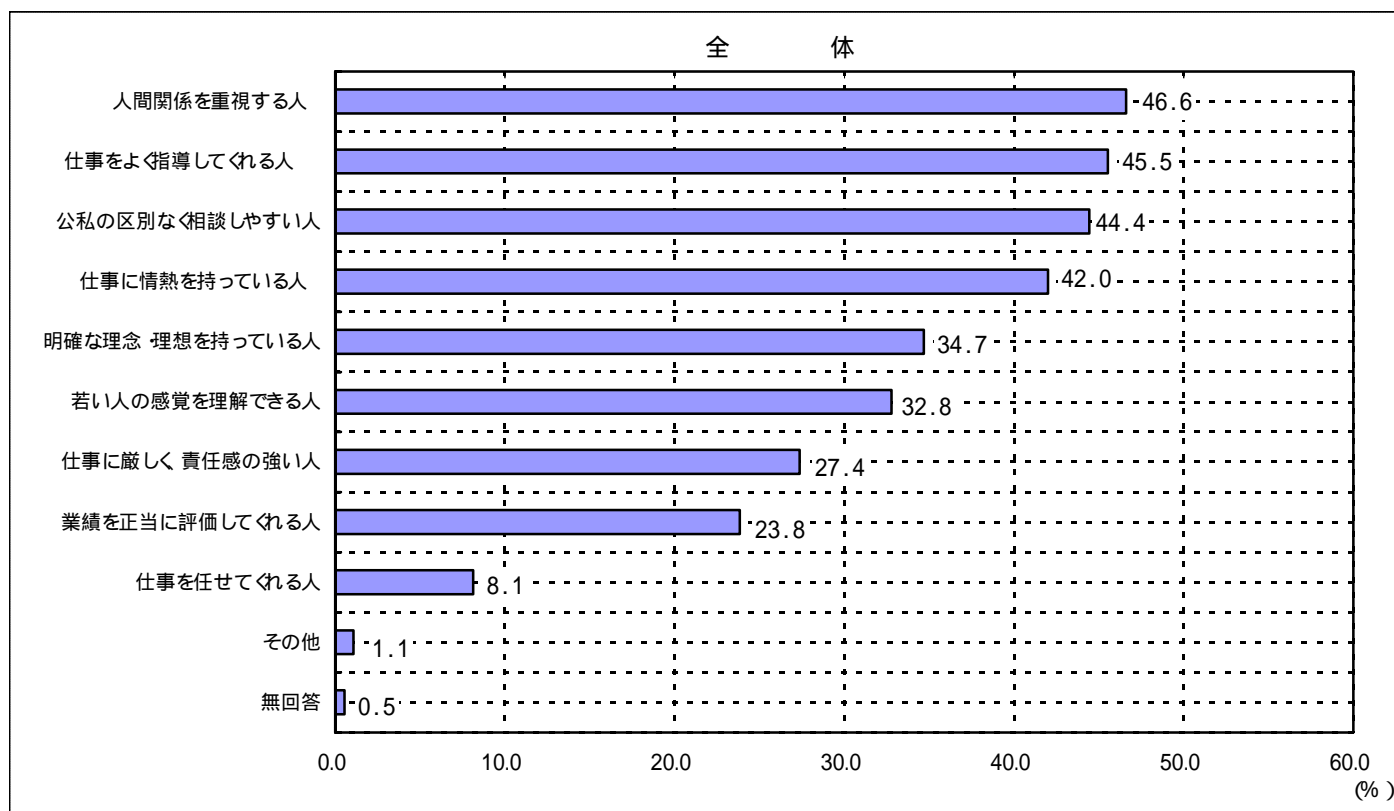
前年の結果グラフ



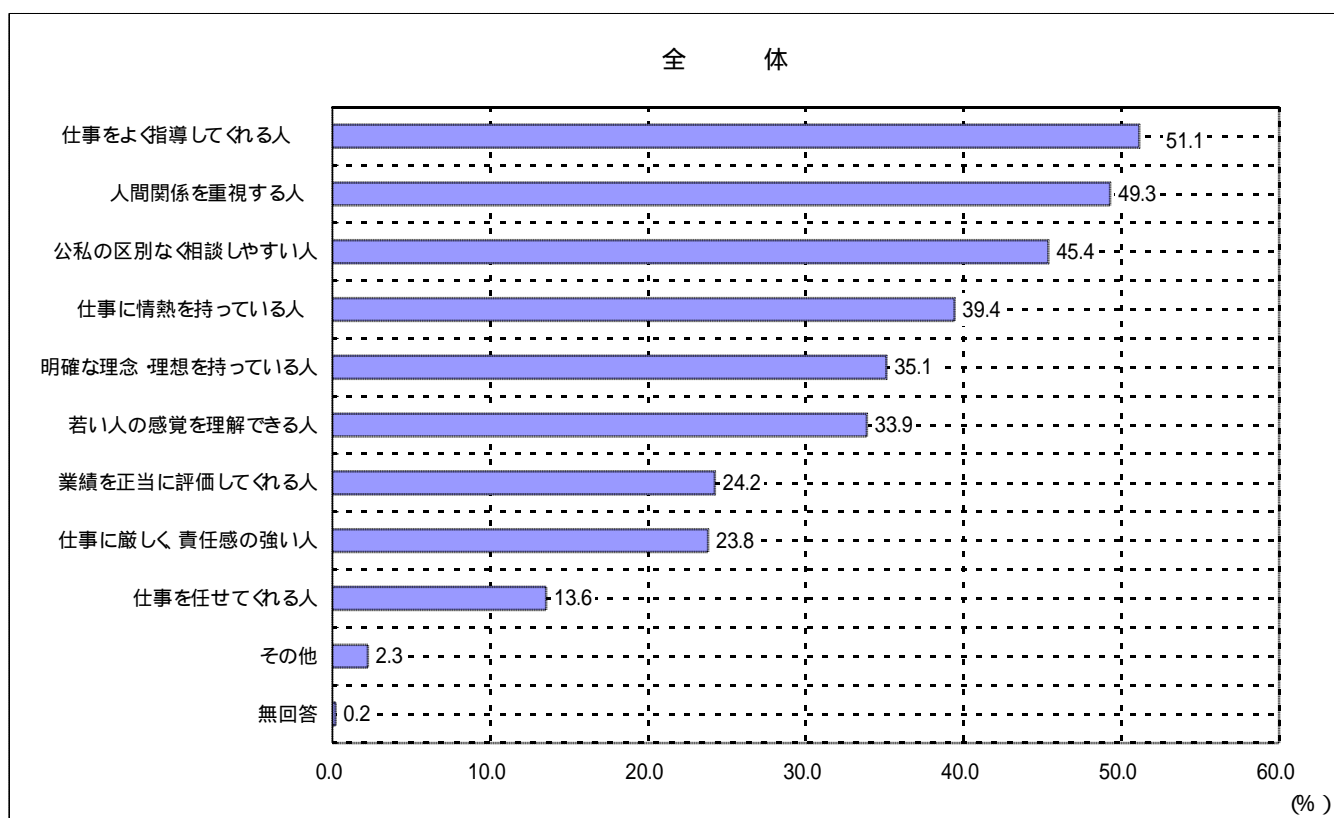
Q11-1 あなたにとって理想の上司とはどのようなタイプですか?(重複回答)

トップ3は、「人間関係を重視する人」46.6%、「仕事をよく指導してくれる人」45.5%、「相談しやすい人」44.4%

トップを男女別に見ると、男性が「人間関係を重視する人」47.5%、女性は「仕事をよく指導してくれる人」57.1%という結果となった。



前年の結果グラフ



Q11- 2 理想の上司を有名人に例えると誰？
 トップは男女ともに「所ジョージ」

男女別に見ると、男性は多才なマルチタレントや野球関係者の人気が高く、これに対して女性は、トップテンに女性5人がランキングされ、同性の上司を好む傾向が見られた。

順位	全体
1	所 ジョージ
2	星野 仙一
3	島田 紳助
4	夕モリ
5	明石家 さんま
6	篠原 涼子
7	東国原 宮崎県知事
8	武田 鉄矢
9	古田 敦也
10	イチロー
11	久本 雅美
12	野村 監督
13	玉木 宏
14	ビート たけし
15	黒木 瞳
16	堤 真一

順位	男性
1	所 ジョージ
2	星野 仙一
3	島田 紳助
4	夕モリ
5	明石家 さんま
6	古田 敦也
7	東国原 宮崎県知事
8	武田 鉄矢
9	イチロー
10	野村 監督
11	玉木 宏
12	ビート たけし
13	黒木 瞳
14	松本 人志
15	堤 真一
16	渡 哲也

順位	女性
1	所 ジョージ
2	篠原 涼子
3	久本 雅美
4	夕モリ
5	天海 祐希
6	島田 紳助
7	明石家 さんま
8	舘 ひろし
9	江角 マキコ
10	佐藤 浩市
11	山本モナ
12	笑福亭 鶴瓶
13	東国原 宮崎県知事
14	武田 鉄矢
15	福山 雅治
16	イチロー

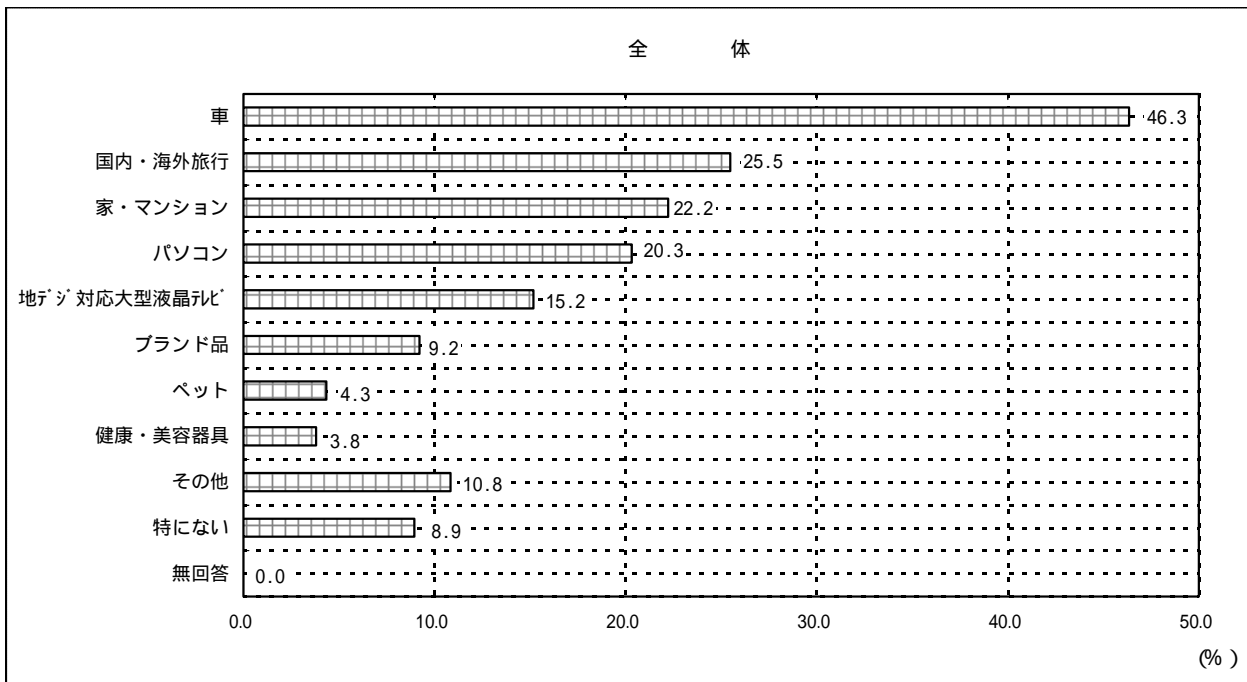
Q12 社会人となって今一番欲しい品物は何ですか?(重複回答)

上位は「車」が46.3%、次いで「国内・海外旅行」25.5%、「家・マンション」22.2%

男女別に上位を見ると、男性が「車」が50.4%でトップ、次いで「家・マンション」28.4%、「パソコン」21.2%、女性のトップは「国内・海外旅行」で47.4%、次いで「車」39.1%、「パソコン」18.8%という結果となった。

社会人となって一番欲しいもの ~ BEST5 (男女別) ~

順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	車(46.3%)	国内・海外旅行(25.5%)	家・マンション(22.2%)	パソコン(20.3%)	地デジ対応大型液晶テレビ(15.2%)
男性	車(50.4%)	家・マンション(28.4%)	パソコン(21.2%)	地デジ対応大型液晶テレビ(18.6%)	国内・海外旅行(13.1%)
女性	国内・海外旅行(47.4%)	車(39.1%)	パソコン(18.8%)	ブランド品(17.3%)	その他(12.0%)



前回の結果グラフ

